

12 交差点での右折タイミング、 運転中の視線の動きを観察して 問題点を話し合ってみましょう



★今日の集まり・早わかり★

目的	信号機のない交差点を右折するときのタイミング、運転中のドライバーの視線の動きを観察し、良い点、問題点を話し合い、自分の運転を振り返ります。																
効果	<p>運転力 🚗 安全に右折するためのタイミングや、運転に必要な情報を取るための視線の動かし方がわかる。</p> <p>気づき力 🗣️ 他の人の行動観察を通して、自分の運転の問題点に気づく。</p> <p>コミュニケーション力 🗣️ 意見を発表し合うことによってコミュニケーション力が上がる。仲間づくりができる。</p> <p>脳機能 🧠 話し合いを通して脳が活性化する。</p>																
時間割の目安	<p>▼ 約 3 時間（準備、あとかたづけを除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>○準備</td> <td style="text-align: right;">10 分</td> </tr> <tr> <td>①リーダーあいさつ</td> <td style="text-align: right;">10 分</td> </tr> <tr> <td>②交通脳トレ.....</td> <td style="text-align: right;">10 分</td> </tr> <tr> <td>③ 自分の運転を振り返る</td> <td style="text-align: right;">2 時間 30 分</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1. 信号機のない交差点の右折</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2. 運転中の視線の動き</td> <td style="text-align: right;">（途中休憩あり）</td> </tr> <tr> <td>④リーダーまとめ</td> <td style="text-align: right;">10 分</td> </tr> <tr> <td>○あとかたづけ</td> <td style="text-align: right;">10 分</td> </tr> </table>	○準備	10 分	①リーダーあいさつ	10 分	②交通脳トレ.....	10 分	③ 自分の運転を振り返る	2 時間 30 分	1. 信号機のない交差点の右折		2. 運転中の視線の動き	（途中休憩あり）	④リーダーまとめ	10 分	○あとかたづけ	10 分
○準備	10 分																
①リーダーあいさつ	10 分																
②交通脳トレ.....	10 分																
③ 自分の運転を振り返る	2 時間 30 分																
1. 信号機のない交差点の右折																	
2. 運転中の視線の動き	（途中休憩あり）																
④リーダーまとめ	10 分																
○あとかたづけ	10 分																



※時間などに制約があり、1 度にできないときは、③の問題を 2 回に分けて実施してください。

..... あらかじめ用意しておくこと

《リーダー・班長》

- 「ワークシート 運転の自己評価 1、2」の問題に目を通し、内容を把握しておきましょう。
- 「今日、話し合うための台本」、「今日、覚えてほしいこと」をよく読んでおきましょう。
- 映像教材（ビデオ）を見ておき、観察方法を確認しておきましょう。

《教材など》

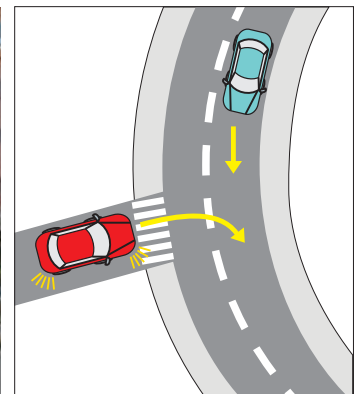
- リーダー・班長用：班長用に P156～173 をすべてコピー（班長の人数分）
レポート用紙など（まとめるために）
- 受講者用：「ワークシート」（P157～161）、「今日のガッテン」（P162）、「今日、覚えてほしいこと」（P163）のコピー（人数分） ※いずれも白黒コピー可
別冊子「交通脳トレ 3 ヶ月」（2 枚 1 組）のコピー（人数分） ※コピー方法は問題集参照
ビデオ（または DVD）と TV モニター（できれば班ごとに）
お茶（ペットボトル）（人数分）
筆記用具（持参していただくか人数分用意）

お名前 _____

自分の運転を振り返る レベル3

問1 運転の自己評価

あなたは写真左の車に乗って、信号機のない交差点を右折して、車の通りの多い片側1車線のカーブに出ようとしています。(下の平面図参照) こういう交差点で、いつも左右の確認をして、合流する道を走る車との間に十分余裕をもって安全に右折できていますか？ 100点満点で、あてはまる点数に○をつけてください。



私の運転は 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100点

いつも合流する車の直前で右折してしまう

しばしば合流する車線の車の直前で右折する

たまに合流する車線の車と余裕をもって右折する

だいたい合流する車線の車と余裕をもって右折する

いつも合流する車線の車と余裕をもって右折する

問2 確認しましょう／信号機のない交差点の安全な右折方法
どのようにすれば安全に右折できるでしょうか。

問3 ビデオを見る 右折の際の問題点を観察しましょう。

問4 ビデオを見た後の感想 ビデオを見てどんな感想を持たれましたか？

問5 ビデオの解説編を見る みなさんで話し合しましょう。

(1) ビデオでは危険な運転がいくつか見られましたが、同じような場面でヒヤリとした経験がありますか？

- 1. ある
- 2. ない

(2) 「ある」と答えた方は、以下のどの「危険パターン」に近いですか？あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)それはどんなヒヤリ体験でしたか？

- 1. 見落とし型 (車のカゲの二輪車や、他に注意を奪われて四輪車を見落とす など)
- 2. 接近車両軽視型 (先頭の車が四輪車なら右折しないが、二輪車なら出てしまう など)
- 3. スピード見誤り型 (迫ってくる車の速度を実際より遅く感じてしまう など)
- 4. カルガモ親子型 (前の車につづいて出てしまう など)
- 5. 待たされてイライラ型 (交差点の車が途切れられないため、つい強引に出てしまう など)
- 6. その他 ()

問6 もう 1 度、運転の自己評価

(1) あなたはいつも、合流する道を走る車との間に十分余裕をもって安全に右折できていますか？
100 点満点で、あてはまる点数に○をつけてください。

私の運転は	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100 点
	折 線 の 車 の 直 前 で 右	い つ も 合 流 す る 車		右 折 す る	し ば し ば 合 流 す る 車 線 の 車 の 直 前 で		も つ て 右 折 す る	た ま に 合 流 す る 車 線 の 車 と 余 裕 を	も つ て 右 折 す る	だ い たい 合 流 す る 車 線 の 車 と 余 裕 を	い つ も 合 流 す る 車 線 の 車 と 余 裕 を も つ て 右 折 す る

(2) 2 回目の自己評価の点数が変わった方におたずねします。
あなたはなぜ、自己評価を変えましたか？ その理由を聞かせてください。

お名前 _____

問1

ビデオを見る ① 交通場面

どこに注意して運転するか、運転しているつもりで考えてください。

問2

運転の自己評価

あなたは、起こりそうな危険にきちんと目を向けて観察できましたか？ 日頃の運転ではどうでしょう？ 100点満点で、日頃の運転について、あてはまる点数に○をつけてください。



私の運転は 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100点

まっすぐ
前方だけを見て
運転してしまう

しばしばまっすぐ
前方だけを見て
運転してしまう

たまに危険を
見落とさないように
運転する

だいたい危険を
見落とさないように
運転する

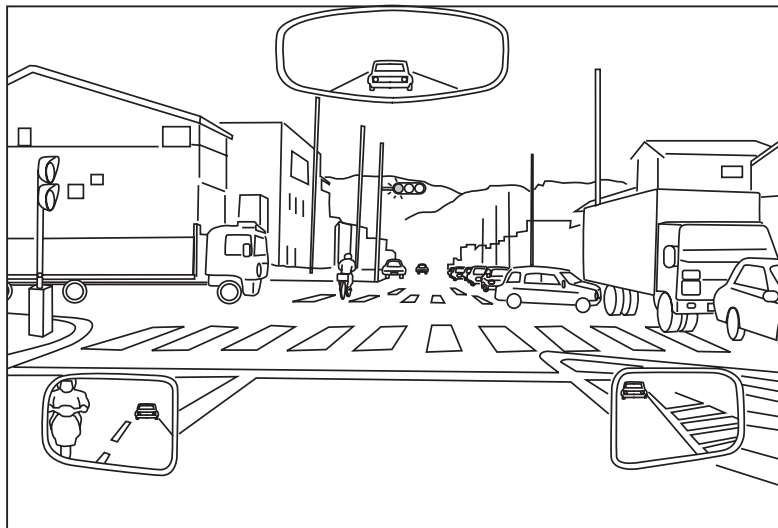
いつも危険を
見落とさないように
運転する

問3 確認しましょう

場面1 信号機のある交差点

この場面で、どんな所を目で見確認する必要があるでしょうか。

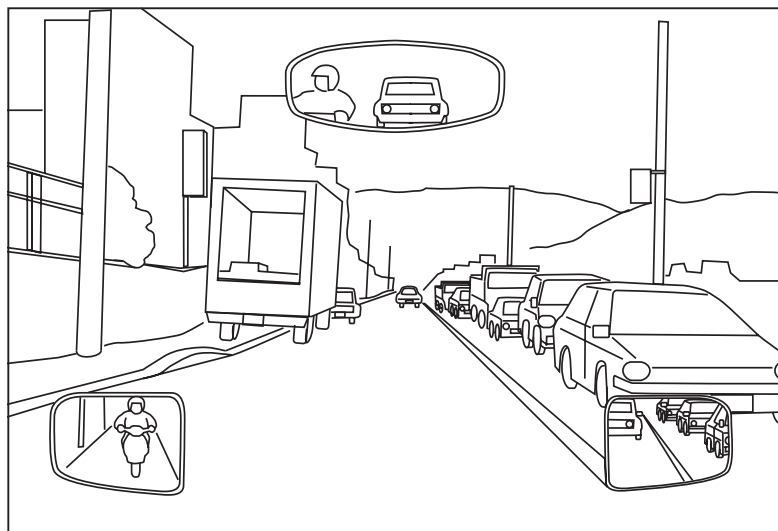
○をつけてください。(○はいくつでも)



場面2 駐車車両を追い越す

この場面で、どんな所を目で見確認する必要があるでしょうか。

○をつけてください。(○はいくつでも)



問4 ビデオを見る ④ 初心ドライバーと優良ベテランドライバーの視線の動き

初心ドライバーと30年間無事故の優良ベテランドライバーの視線の動きを比べ、どこが違うのか、みなさんで話し合しましょう。

問5

ビデオの解説編を見る みなさんと話し合しましょう。

あなたの視線は、初心ドライバーと優良ベテランドライバーの、どちらに近いですか？
あてはまるところに○をつけてください。

視線の動き	1	2	3	4	5
	初心ドライバーに近い		中間くらい		優良ベテランドライバーに近い

問6

もう1度、運転の自己評価

(1) さきほどの自己評価でよかったですか？ あなたは運転中、起こりそうな危険を見落とさないように、前方だけでなく左右や後方の情報を目で見確認して運転していますか？ 100点満点で、あてはまる点数に○をつけてください。

私の運転は	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100点
	まったく前方だけを見て運転してしまう		まっすぐ前方だけを見て運転してしまう	しばしばまっすぐ前方だけを見て運転してしまう		たまに危険を見落とさないように運転する		だいたい危険を見落とさないように運転する		いつも危険を見落とさないように運転する	

(2) 2回目の自己評価の点数が1回目と変わった方におたずねします。

あなたはなぜ、自己評価の点数を変えましたか？ その理由を聞かせてください。

今日のガッテン



お名前

さまざまな交通場面のビデオを見たり、班で話し合ってみて、考えたこと、運転に生かそうと思ったことを書いてください。

問1

最後にまとめとして、日頃の自分の右折方法を振り返り、自分の課題を書いてみましょう。

問2

視線の動かし方について今日の集まりで感じたこと、気づいたことを具体的に書いてください。

お疲れさまでした。健康でいつまでも運転を楽しんでください。

「右折事故」を防ぐために

事故の多くは交差点で起きていますが、右折事故は、高齢ドライバーで3番目に多い事故です。事故にあわないポイントを覚えておきましょう。

●待たされてもイライラしない

ビデオで見たような、信号のないわき道から、交通量の多い道に右折するときには、車の流れが途切れるまで待つことが大切です。早く曲がりたいというあせりの気持ちが出てくると、二輪車を見落としたり、対向車の速度を見誤ったり、イライラして強引に右折して、危険を招いてしまいます。

危険を避けるために、信号機のある交差点を選んで通るという方法もあります。

●信号のある交差点では「右直事故」に注意

「右直事故」という言葉を聞いたことがありますか？信号機のある大きな交差点で右折中の車と、対向車線をまっすぐ走ってくる車が衝突する事故です。

とくに注意したいのは、対向車のカゲから出てくる二輪車です。

意識して視線を動かそう

運転中の視線の動きをビデオで見させていただきました。

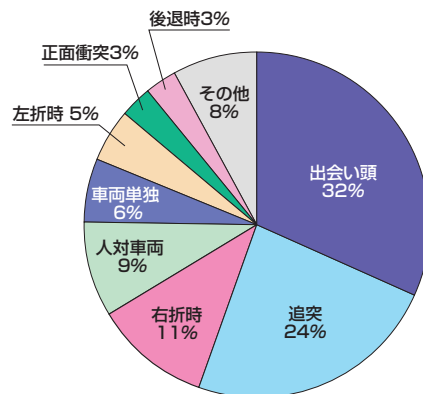
初心者の視線は前方だけに偏りがちですが、ベテランは、視線が左右に広がり、ミラーもひんぱんに確認しています。高齢になるほど、初心者の視線の動きに近くなる傾向があります。

運転に必要な情報の約9割は、目から取るといわれます。また、交通事故の原因の多くが、操作ではなく、見たり、判断するときのミスによって起きています。

危険を見落とさないように、視線を意識的に左右に動かすようにしましょう。



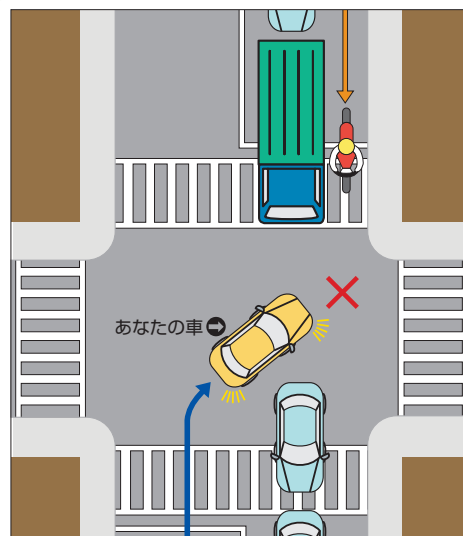
図1 高齢ドライバー（70歳以上）の交通事故の形



死傷事故件数（第1当事者※）5万3,268件
（財）交通事故総合分析センター 2006年

※第1当事者：事故を起こしたとき、主な原因をつくった側の人をいいます。双方の違反が同程度のときは、被害が少なかった方が第1当事者になります。

図2 右直事故



今日、話し合うための台本

進める順序	リーダーと班長にやっていただくこと
<p>○準備 10分</p>	<p>※参加者の人数に合わせて、あらかじめリーダーは班長を決めておく。</p> <p>①班を編成（5～8人）する。</p> <p>②机やいすを並べかえ、班ごとに着席する。</p>
<p>①リーダーあいさつ 10分</p> <p style="text-align: center;">▼ ▼ ▼ ▼</p>	<p>♣ リーダー（班長の代表）</p>  
<p>■班ごとに自己紹介</p>	<p>♠ 班長 ご自分を含め、全員に自己紹介をしてもらう。 （お名前、お住まいの地域、運転歴、最近車で出かけた所など）</p>
<p>②交通脳トレ 10分</p> <p>■「交通脳トレ」問題 2枚配布</p> 	<p>♠ 班長</p> <p>①「交通脳トレ」問題2枚を配る。</p> <p>②2人1組になり、問題終了までの時間を腕時計（秒針付き）で計って、用紙に記入してもらう。</p> <p>▼1枚目 「文字ひろい」または「まちがい探し」 ▼2枚目 「計算と音読」</p>   
<p>③自分の運転を振り返る 2時間30分</p> <p>○運転の自己評価1 —信号機のない交差点の右折 (合計55分)</p> <p>■「ワークシート 運転の自己評価1」2枚配布 問1 運転の自己評価 (100点満点) (5分)</p>	<p>♠ 班長</p> <p>①「ワークシート 運転の自己評価1 信号機のない交差点の右折」2枚を配る。</p> <p>②問題を読みあげ、該当する点数に○をつけてもらう。</p> <p>③1人ひとりにつけた点数を聞く。</p> <p>④○点は○人と、つけた点数と人数をメモする。</p> 

話し方の例

このまま読みあげるだけで講座を進めることができます

ポイント



リーダー

- 事故の多くは交差点で起きていますが、高齢ドライバーは他の年齢層と比べると、右左折違反による事故が多いようです。
- また、危険な目にあわないためには、起こりそうな危険に目を向けることが大切です。運転に必要な情報の約90%は目から取っています。運転中の視線の動かし方は重要です。
- 今日は、交差点を右折する車の動きと、運転中の視線の動きをビデオで見ていただきます。その人の行動で何が問題か、問題をなくするにはどうしたらいいのか、同じ場面でみなさんはいつもどんな行動をしているのかを話し合い、考えていただきます。
- これから班ごとに班長さんや私が進行役になって、話し合ってください。各班で出た内容を後ほど班長さんから発表していただきたいので、班長さんにはまとめをお願いします。

★準備の必要上、初めて実施するときは事前に班長を決めておきますが、次回からは自薦、他薦で班長を決めるのもよいでしょう。

★参加者のみなさんに、トレーニングの目的、内容を理解してもらいます。

★お互いのことを知ると話がスムーズに進みます。



班長

- 最初のトレーニングは「交通脳トレ」です。この問題は3ヵ月分あるのですが、今日はそのうちの1日分(2枚)をやっていただきます。1枚目の問題では、安全運転に大切な、運転中にとっさに危険を察知する能力を支える、脳のトレーニングを行います。
- 2枚目の問題では、簡単な計算問題(※)と小説などの一部を音読していただき、脳を活性化します。2枚1組の問題を少なくとも3ヵ月間続けて行くと効果が出てきます。
- 2人1組になり、問題にかかった時間を腕時計(秒針付き)で計ります。1枚目の問題から始めます。「スタート」の合図をしたら、時間を計ってください。では、スタートします。(2枚目の2つの問題も同様に行う)

★まず、「交通脳トレ」から始め、脳の働きを高めます。

★開発者は、脳のトレーニングで知られる東北大学の川島隆太教授です。

※やさしい問題をすばやく正確に計算することが、脳を活性化させます。

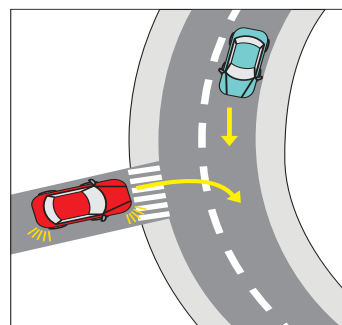
★時間の計り方を練習してから始めましょう。

*「交通脳トレ」の詳しい情報は、別冊子「交通脳トレ3ヵ月」をご覧ください。



- これから「運転の自己評価」の1つ目の問題を行います。みなさんは写真左の車に乗って、信号機のない交差点を右折して出ようとしていてと考えてください。
- 普段の運転を思い出して、こういう場所を通るとき、ご自分の運転は100点満点で何点になるか○をつけてください。

★写真に写っているのがどんな交差点か説明してください。



進める順序

リーダーと班長にやっていただくこと

問2 確認しましょう／信号機のない交差点の右折方法 (10分)

♣ 班長

- ①問題を読みあげる。
- ②参加者に1人ずつ答えを話してもらう。
- ③発言をメモをする。
- ④全員が話し終わったら簡単に答えをまとめる。



問3 ビデオを見る (5分)



♣ 班長

- ビデオをセットして、参加者に見てもらう。
- ビデオが1台しかなく、班が複数ある場合は：
 - ・班の数が少なく、テレビが大きい場合は、1度に全員で見る。
 - ・班の数が多く、テレビが大きい場合は、班を分けて順番に見る。

問4 ビデオを見た感想を話してもらう (10分)

♣ 班長

- ①ビデオを見終わったら、参加者に1人ずつ感想を話してもらう。
- ②発言をメモする。
- ③全員が話し終わったら、簡単に答えをまとめる。



問5 ビデオの解説編を見るみなさんで話し合しましょう (15分)

- (1) 同じような場面でヒヤリとした経験があるか
- (2) 「ある」と答えた人にあてはまる危険パターンと、実際のヒヤリ体験

♣ 班長

- ①ビデオの解説編を見て、右折の際の問題点を確認する。
- ②5の(1)と(2)の質問を読みあげる。
- ③参加者1人ひとりに答えてもらう。
- ④答えをメモする。
- ⑤全員が話し終わったら、出た答えを簡単にまとめる。



話し方の例

[点数をつけ終わったら]

- では、〇〇さんから順につけた点数を教えてください。



- 信号機のない交差点の安全な右折の仕方をみなさんで確認しましょう。△△さんから順にお願いします。

[全員の話が終わったら]

- みなさんの答えをまとめると……（メモを見ながら多い答えから紹介）ですね。安全に気を配って運転しておられますね。

[参加者から引き出したい答え]

- ・交差点の手前で徐行または停止して、安全を確認し右折する。
- ・合流する道の車の通行量が多いときは、安全のために車の切れ目を辛抱よく待つ。
- ・後ろに車がきても、あわてない。
- ・危険な交差点は通らないようにし、信号機のある交差点を選ぶ。



- では、これからビデオで、写真と同じ場所で右折しようとする車の動きを見ていただきます。5つの危険パターンに分けて紹介しています。どんな運転をしているか観察してください。



- ビデオを見た感想を1人ずつお話しください。

[全員の話が終わったら]

- みなさんの意見で多かったのは……（メモを見ながら、主な意見を発表する）ですね。



- では、これからみなさんの普段の運転を振り返って、話し合いをしていただきたいと思います。

- 問5の(1)の問題ですが、ビデオと同じような場面でヒヤリとした体験がありますか？「ある」と答えた方は、ビデオで紹介された危険なパターンのどれに近いですか？〇〇さんから順にお願いします。

[全員の話が終わったら]

- ありがとうございました。お話をまとめましょう。ヒヤリ体験がある方は○人おられました。危険パターンで多かったのは△△で△人、□□は□人（メモを見ながら、多く上がった項目をまとめる）でした。

ポイント

★自己評価はビデオを見る前と後に各1回行います。2回の点数の変化を見ることがポイントです。

1回目で100点は○人、90点は○人とメモしておく、変化がよくわかります。（P168メモ例参照）

★リーダーと班長は、参加者のみなさんの話を引き出すことに徹しましょう。

★人の意見を聞いたり、自分の考えを発表することで、自分と同じ考え方があることや、自分以外のいろいろな考え方があることを知り、見方が広がります。

★話し合いは、脳を刺激します。

★「参加者に期待する答え」で書かれている内容が、もれているときは、補ってください。必要な内容がすべて発言で出た場合は、よい話し合いであったとほめましょう。

★5つの危険パターン

- ・見落とし型
- ・接近車両軽視型
- ・スピード見誤り型
- ・カルガモ親子型
- ・待たされてイライラ型

進める順序

リーダーと班長にやっていただくこと

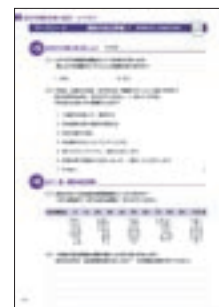
問 6 もう 1 度、運転の自己評価 (100 点満点) (10 分)



♠ 班長

1 回目の自己評価と同じ手順で行う。

- ① 問題を読みあげ、該当する点数に○をつけてもらう。
- ② 1 人ずつに○をつけた点数を発表してもらう。1 回目と点数が変わった人には理由を話してもらう。
- ③ ○点は○人と、つけた点数と人数、理由をメモする。
- ④ 全員の話が終わったら、簡単にまとめる。



《メモ例》

	1 回目	2 回目	差	理由
A さん	80 点	70 点	-10	○○○
B さん	90 点	60 点	-30	×××
C さん	70 点	70 点	0	△△△
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:

《メモ例》

	1 回目	2 回目	差
100 点	1 人	0 人	-1
90 点	2 人	1 人	-1
80 点	3 人	5 人	2
:	:	:	:
:	:	:	:

☕ 休憩 (10 分)

○運転の自己評価 2

—運転中の視線の動き (合計 75 分)

■「ワークシート 運転の自己評価 2」 3 枚配布

問 1 ビデオを見る

- ① 交通場面 (5 分)

♠ 班長

- ① 「ワークシート 運転の自己評価 2 運転中の視線の動き」 3 枚を配る。
- ② ビデオをセットし、見ってもらう。



問 2 運転の自己評価 (100 点満点) (5 分)

♠ 班長

「運転の自己評価 1 信号機のない交差点の右折」と同じ手順で行う。

- ① 問題を読みあげ、該当する点数に○をつけてもらう。
- ② 1 人ひとりにつけた点数を聞く。
- ③ ○点は○人と、つけた点数と人数をメモする。



問 3 確認しましょう／運転中の視線の動き (15 分)

♠ 班長

- ① 場面 1 の写真で、目で確認する必要があるところに○をつけてもらう。
- ② 1 人ひとりに○をつけたところを答えてもらう。
- ③ 解答をメモする。
- ④ 全員の発言が終わったら、簡単にまとめる。

話し方の例

- では、もう一度ご自分の運転を振り返って、「運転の自己評価」に点数をつけてください。最初の自己評価でよかったですか？

[参加者が点数をつけ終わったら]

- 〇〇さんから順に、2度目につけた点数を発表し、1回目と点数が変わった方は理由をお話してください。

[参加者の話が終わったら]

- ありがとうございます。ビデオを見た後は、運転の自己評価の点数が下がる方が多いのです。みなさんはいかがですか？（※）
- みなさんのように経験豊富なドライバーは、一般的に自分の運転への評価が高いのですが、他の人の危険な運転を観察することで、自分の運転を反省し、点数が下がるのです。
 - ・点数が下がった方は→自分の運転を振り返り、運転の問題点を客観視できるようになったといえます。
 - ・点数が上がった方、同じ方→きちんと正しい方法でいつも通過しているといえますが、自信過剰にならないように注意して運転してください。

ポイント

★ビデオを見たあと自己評価がどう変わるかを見るのがポイントです。

2回目につけた点数を、100点〇人、90点〇人など人数を入れ、1回目と比較してみましょう。

※2度目の自己評価では、1回目より低く点数をつける人が多くなる傾向があります。ビデオで右折時の危険な場面を見ることで、自分も無理して曲がるかもしれないと思うためです。



- 次に、「運転中の視線の動き」について取り上げます。
- 運転中は、起こりそうな危険に目を向けることが大切です。まず、ビデオで運転席から見た交通場面をお見せします。どこに注意するかを考えながら、運転しているつもりで見てください。



- みなさんは運転中、つねに起こりそうな危険を見落とさないように目で確認していますか？ 100点満点で何点になるか〇をつけてください。

[点数をつけ終わったら]

- 〇〇さんから順につけた点数を教えてください。

★自己評価はビデオを見る前と後に行います。2回の点数の変化を見るのがポイントです。

1回目100点は〇人、90点は〇人とメモしておくと、変化がよくわかります。

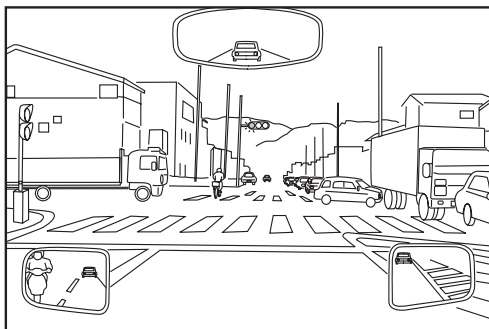


- では、これから運転中の視線の動きについて確認しましょう。さきほどのビデオにはいくつか危険場面がありましたね。2つの場面を取り上げて、どこを目で確認する必要があるか話し合います。まず、場面1で確認する必要がある個所に〇をつけてください。

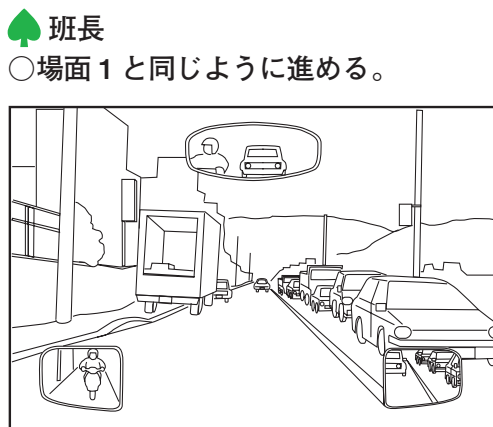
進める順序

リーダーと班長にやっていただくこと

場面 1
信号機のある交差点



場面 2
駐車車両を追い越す



♠ 班長
○場面 1 と同じように進める。

問 4 ビデオを見る
みなさんで話し合いま
しょう (20分)
㊦ 初心ドライバーと優良ベ
テランドライバーの視線
の動き

- ♠ 班長
- ① ビデオをセットし、見てもらう。
 - ② 初心ドライバーと 30 年間無事故の優良ベテランドライバーの視線の違いを見て、感じたことを参加者 1 人ひとりに答えてもらう。
 - ③ 発言をメモする。
 - ④ 全員の発言が終わったら、メモをもとにまとめる。



話し方の例

[○をつけ終わったら]

●○○さんから順に○をつけた場所と理由をお話してください。

*以下、場面2も同様に行う。

[場面1で期待される答え]

- ・左自転車の中央へのはみ出し。
- ・前方駐車車両の急発進、ドア開き。
- ・前方駐車車両のカゲからの飛び出し。

[場面2で期待される答え]

- ・駐車車両のカゲからの飛び出し。
- ・駐車車両の急発進、ドア開き。
- ・渋滞する対向車のカゲからの飛び出し。



●ビデオと同じ場面を走っているときのドライバーの視線の動きをアイカメラ(※①)を使って見ていただきます。まず、初心ドライバー、次に30年間無事故の優良ベテランドライバーの視線の動きをご覧ください。どこに違いがあるか考えながら見てください。(※②)

[ビデオを見終わったら]

●ビデオを見ていかがでしたか？ 初心ドライバーと優良ベテランドライバーの視線の違いについて、気づいたことを△△さんからお話してください。

[初心ドライバーの視線の動きを見て期待される答え]

- ・前方をじっと見ていて、視線の左右の動きが少ない。
- ・ミラーの確認もほとんどされていない。
- ・確認すべきところに視線が動いていない。

[優良ベテランドライバーの視線の動きを見て期待される答え]

- ・前方だけでなく、左右に視線が移動している。
- ・ミラーチェックをよくしている。
- ・自転車、駐車車両などを早めにチェックしている。
- ・車のカゲなど、隠れた危険をよく見ている。

ポイント

★場面1～2で「期待される答え」が書いてあります。全員が発言した後、答えがもれているときは補ってください。必要な内容がすべて発言で出た場合は、よい話し合いであったとほめましょう。

※①アイカメラ：

視線の動きを撮影できるカメラのこと。画面の点は目線の動きを示します。

※②ビデオ画面下部に、A(アクセル)、B(ブレーキ)、C(クラッチ)、H(ハンドル)、S(スピード)の状況が表示されていますが、本トレーニングではとくに必要ありません。

★「期待する答え」の中で、全員の発言が終わった後、もれているものがあれば補ってください。必要な内容がすべて発言で出た場合は、よい話し合いであったとほめましょう。

進める順序

問5 ビデオの解説編を見る
みなさんと話し合いま
しょう (20分)

あなたの視線は、初心者とベ
テランのどちらに近いか

リーダーと班長にやっていただくこと

♠ 班長

「運転の自己評価1」の話し合いと同じ要領で進める。

- ① 問5の質問を読みあげる。
- ② 参加者1人ひとりに○をつけた点数と理由を話してもらう。
- ③ 答えをメモする。
- ④ 全員の話が終わったら、出た答えを簡単にまとめる。



問6 もう1度、運転の自
己評価 (100点満点)
(10分)

♠ 班長

1回目の「運転の自己評価」と同様の手順で行う。

(1回目と2回目の評価を比較することがポイント)

- ① 問題を読みあげ、該当する点数に○をつけてもらう。
- ② 1人ずつに○をつけた点数を発表してもらう。1回目と点数が変わった人には理由を話してもらう。
- ③ ○○点は○人と、つけた点数と人数、理由をメモする。
- ④ 全員の話が終わったら、簡単にまとめる。

■ 「今日のガッテン」
1枚配布 (10分)



♠ 班長

- ① 「今日のガッテン」1枚を参加者に配る。
- ② 参加者に記入してもらう。
- ③ 書き終わったら1人ずつ発表してもらう。



④ リーダーまとめ

10分

■ 「今日、覚えてほし
いこと」1枚配布

♣ リーダー (班長の代表)

- ① リーダーとして今日の話し合いについて感想を話す。
- ② 「今日、覚えてほしいこと」1枚を配り、参加者に読んでもらう。
- ③ 今日のまとめをする。



【ご注意】 次回の集まりをご計画の場合は、最後
にその案内や班長の人選を忘れないよ
うにしましょう。

○あとかたづけ

10分

話し方の例



- 解説編のビデオでは、初心者とベテランの視線の特徴を比べます。ビデオを見終わったら、ご自分の視線が初心者とベテランのどちらに近いか、あてはまる点数に○をつけてください。



- では、視線の動きについてもう一度「運転の自己評価」をお願いします。最初の自己評価でよかったですか？

[参加者が点数をつけ終わったら]

- では、○さんから順に、2度目につけた点数を発表し、1回目と点数が変わった方は理由をお話してください。

[参加者の話が終わったら]

- ありがとうございます。点数が下がった人が○人、上がった人は○人、変わらない人は○人でした。(メモをもとにまとめる)



- 活発なご意見をいただきありがとうございました。
- ビデオの観察や「運転の自己評価」をして気づいたこと、考えたこと、これから実行していこうと思うことを「今日のガッテン」の紙に、できるだけ具体的に書いてください。(※)

[記入が終わったら]

- では、○○さんから順に、書き入れたことを発表していただけますか。他の方の意見を聞くと勉強になると思います。



- 安全な運転のために、自分の行動の問題点に気づくことが大切です。

ビデオで他の車の動きを観察して問題点を見つけることは、自分の行動を振り返るために、私はとても有効な方法だと思いました。人の悪いところを見ると、もしかして自分もやっているかもしれないと思うからです。話し合いの中でも○○さんからも同じような意見が出ていました。同感です。

- では資料「今日、覚えてほしいこと」をお配りします。指名させていただきますので、順番に読みあげていただけますか。(※)

- 高齢ドライバーは、長年の運転経験をもっているために、なかなか自分の運転を客観的に見るのが苦手で、自信過剰になりがちです。年齢とともに運転に必要な体の機能が変化し、運転も変わってきます。運転の自己評価で点数が上がったといっても、ご自分の運転の変化を考え、これまで以上に安全運転をお願いします。

ポイント

★人から教わるのではなく、自分たちで答えを見つけ出すことがとても大事です。

★リーダーや班長は、参加者が話し合う中でいろいろなことに気づき、運転中の視線の動かし方が重要だということを導き出せるように、聞き役に徹してください。

ただし、話が長くなったら短く切り上げてもらうようにしましょう。

※「気をつけます」「安全運転をします」といったばかりとした書き方ではなく、「隠れた危険に目が行くようにする」など、具体的な内容で書いてもらいましょう。

★参加者はトレーニングの後、今日のまとめを期待しています。リーダーの方は「今日、覚えてほしいこと」を配り、今日のポイントをまとめて伝えましょう。

※時間がなければ「ここでは読みあげませんが、お帰りになってからお読みいただけると幸いです」とつけ加えてください。